

-----11月5日----- 2024年

※ 今週のアウトルック(11/5~11/8)

先週は週末に米国雇用統計を控えて小動きな展開となりました。雇用統計の発表直後は、予想よりも悪い結果となったため、米ドルが売られる展開となりましたが、その後持ち直して、NY市場終了時は153円程度となっています。

今週に入り、米ドルは朝から大きく売られて始まっています。このまま、ドル売りが続くのか、まずはアジア市場とロンドン市場に注目したいところです。

先週のドル円は、151円から153円付近の小動きな展開が続きました。米国雇用統計発表後は、予想よりも悪化していたため、直後売られる展開となりましたが、NY市場終了時までには153円付近まで戻しています。

今週に入り、朝から下落して始まりましたが151.5円以下までは下落することなく、ロンドン市場開始あたりで152円付近まで戻しています。11/5の大統領選の結果次第では、大きく動く可能性はありそうですが特に新大統領の景気対策や為替などに関する発言には注目が集まりそうです。

ドル円の予想レンジは146円から155円です。

ユーロドルは先週の金曜日のNY市場で1.083付近まで売られたものの、今週に入り1.09付近まで戻ってきています。週後半にかけての展開は、やはり米国大統領選挙の結果が大きく影響しそうです。ユーロ円も一時的にボラティリティが大きくなる可能性もありますので、注意が必要なように思います。

ユーロ円の予想レンジは159円から168円です。

ポンドドルも1.3付近のサポートラインを割り込んで、大きく下落するかに見えましたが、今週に入り戻ってきています。ポンド円も今週の状況次第では、下落トレンド入りする可能性もありそうです。

ポンド円の予想レンジは190円から200円です。

今週は米ドル買い、あるいは米ドル売りに大きく動き出す可能性もありそうです。市場心理の変化には注目していきたいところです。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。